

# 大学生の外食に関する実態調査

メンバー：経営学部3回生サービス・マネジメント INS.

稲田 諒介・小野 圭・塩田 有宏・田原 慶子・三木あゆみ

## 目次

### はじめに

- : 背景
  - : 一ヶ月の食費
  - : 平日と休日の比較
    - 1 : 外食の際によく利用する場所
    - 2 : 外食の頻度
    - 3 : 外食の際に支払う金額
    - 4 : 外食をする相手
    - 5 : 外食をする際の交通手段
  - : 飲み会
    - 1 : 飲み会をする頻度
    - 2 : 飲み会をする際に支払う金額
    - 3 : 飲み会をする際によく利用する場所
    - 4 : 飲み会をする際の交通手段
  - : デート
    - 1 : デートで外食をする頻度
    - 2 : デートで外食をする際に支払う金額
    - 3 : デートで外食をする際によく利用する場所
    - 4 : デートをする際の交通手段
  - : 外食・飲み会・デートをする際のお店選びで重視する点
- おわりに

### はじめに

今回私たちは立命館大学における特殊講義 SC という講義の中で、BKC の学生を対象にアンケート調査を実施しました。テーマは、大学生の外食の現状についてとりあげ、「男性と女性」・「自宅生と下宿生」・「文科系と体育会系」との比較の中で調査してみることにしました。6月初旬から中旬にかけて、学内でアンケートを依頼し、200枚を回収することができました。また、「平日の夕食」・「休日の夕食」・「飲み」・「デート」と、大きく4つの項目に分けて様々な質問を設けました。

そのアンケート調査結果をもと作成したのがこの報告書です。これにより、大学生の外食に関する実際の状況がよくわかると思います。

## ：背景

方法：BKCの学生に直接配布

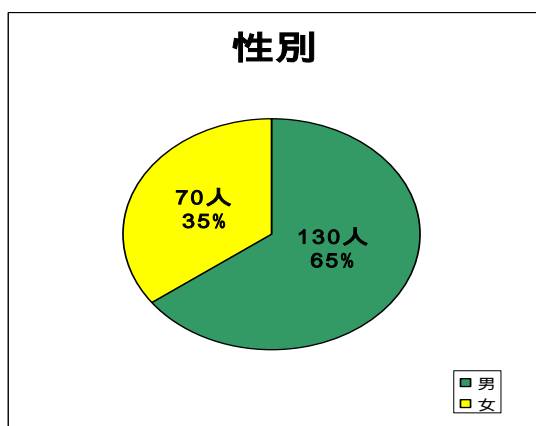
回収方法：その場で回収

基準日：6月初旬～中旬

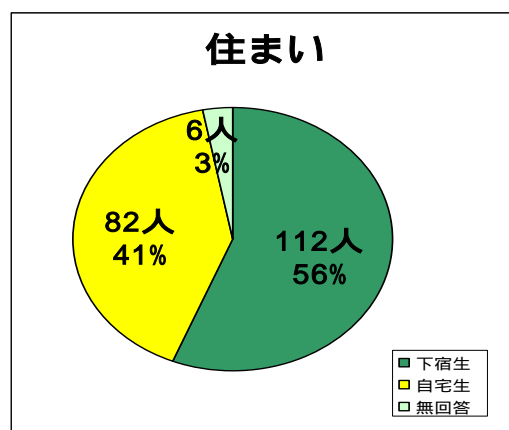
送付数：220人

回答総数：200人(91%)

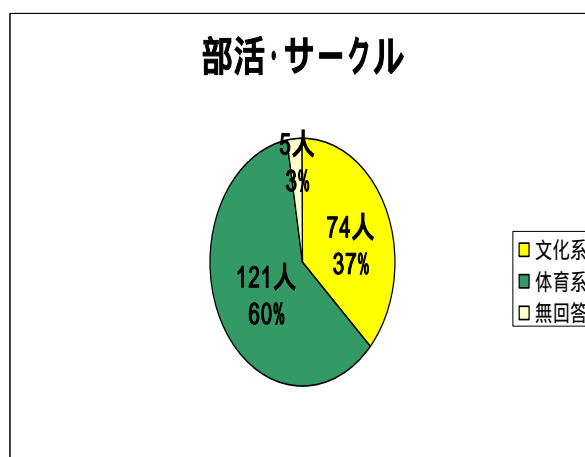
有効回答：200人(100%)



今回アンケートに答えてくれた男女比は、男性65%女性35%と男性が全体のおよそ3分の2を占めている。

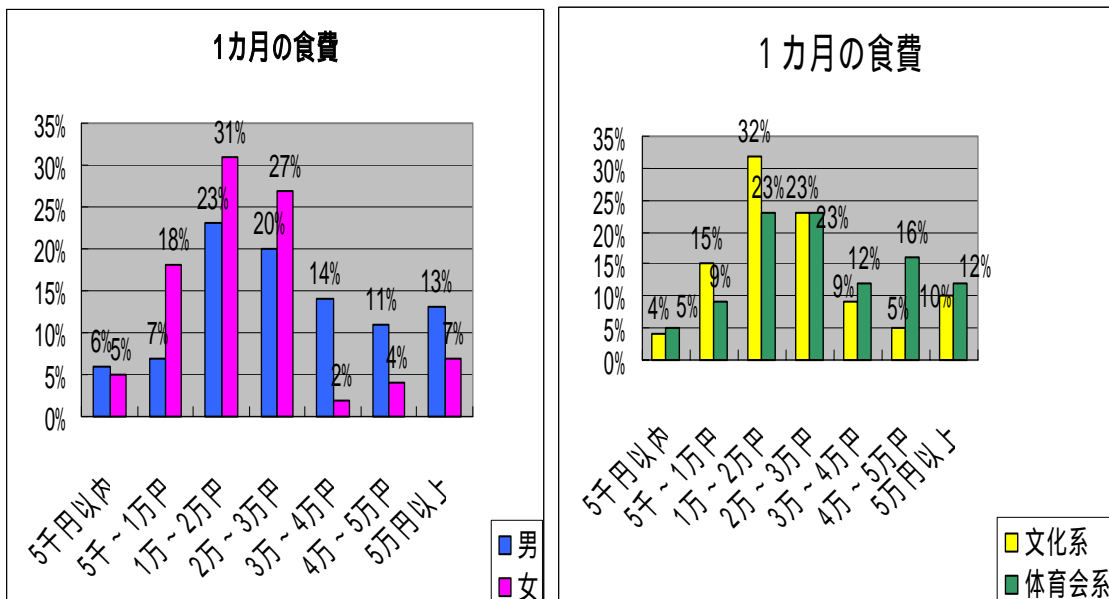


住まいとしては下宿生56%・自宅生41%・無回答3%という比率であった。



文科系 OR 体育会系の部活・サークルに所属している人の割合は文科系が37%、体育会系が60%、無回答が3%と比較的体育会系の学生が多い結果となった。

：一ヶ月の食費

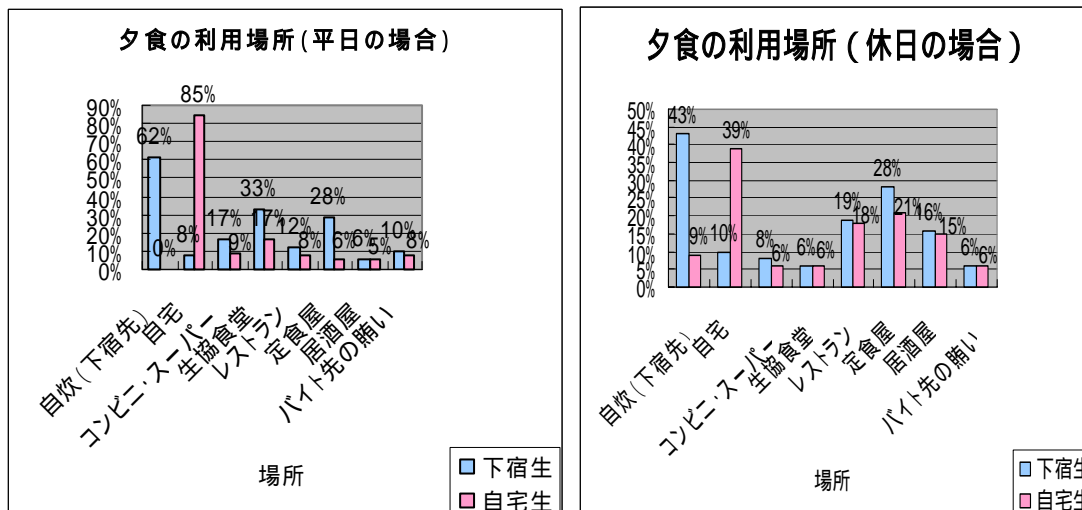


大学生の一ヶ月の食費を、男女と文化系・体育会系とでそれぞれ比較してみた。まず、男女を比較すると、女性が1～2万円以内が全体のおよそ3割を占めるのに対して、男性は1～2万円以内に食費を抑えている人もいるが予想通り3～4万円、4～5万円、また5万円以上の方が女性に比べてかなり多い結果となった。

次に、文化系と体育会系との比較だが、これも予想通り文科系は1万～2万円内が全体の3割を占めている。それに対して、体育会系は2万～3万円が2割強、次いで、4万～5万円・5万円以上が3割近くにも達している。

## ：平日と休日の比較

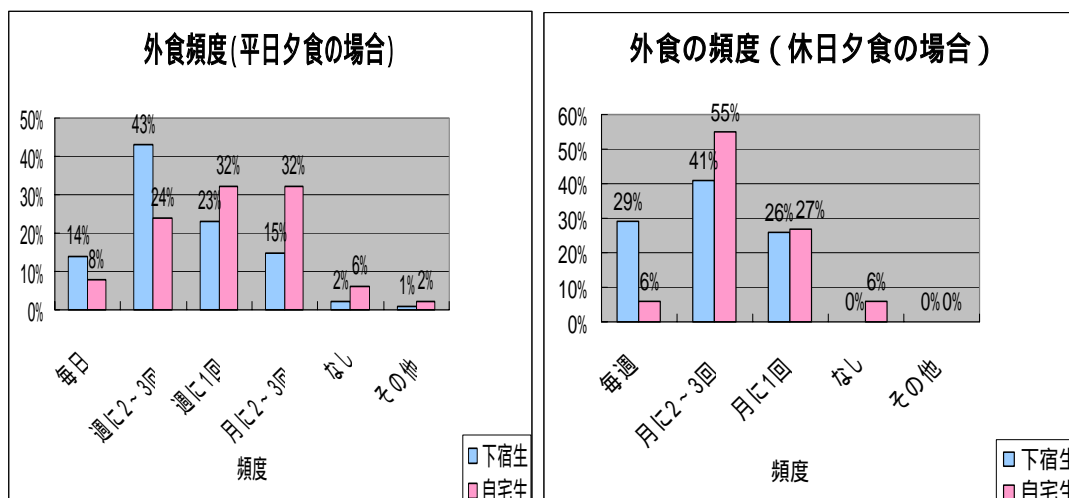
### - 1 : 外食の際によく利用する場所



下宿生と自宅生の外食に対する比較をした。それも、平日と休日に分けて分析してみると思う。やはり自宅生は8割強が、平日は圧倒的に自宅で食事をしているのがわかる。しかし、休日になると、自宅での食事はおよそ半分の3割にまで下がり、その分レストランや定食屋、居酒屋で外食をする人の割合がそれぞれ平日に比べて10%以上アップしている。

また、下宿生においては、平日は6割の人が下宿先にて自炊をしている。その他には生協食堂や定食屋を利用している人が比較的多いことがわかる。休日を見てみるとやはり、下宿生も平日に比べて外食をしている人が多いことがわかる。

### - 2 : 外食の頻度

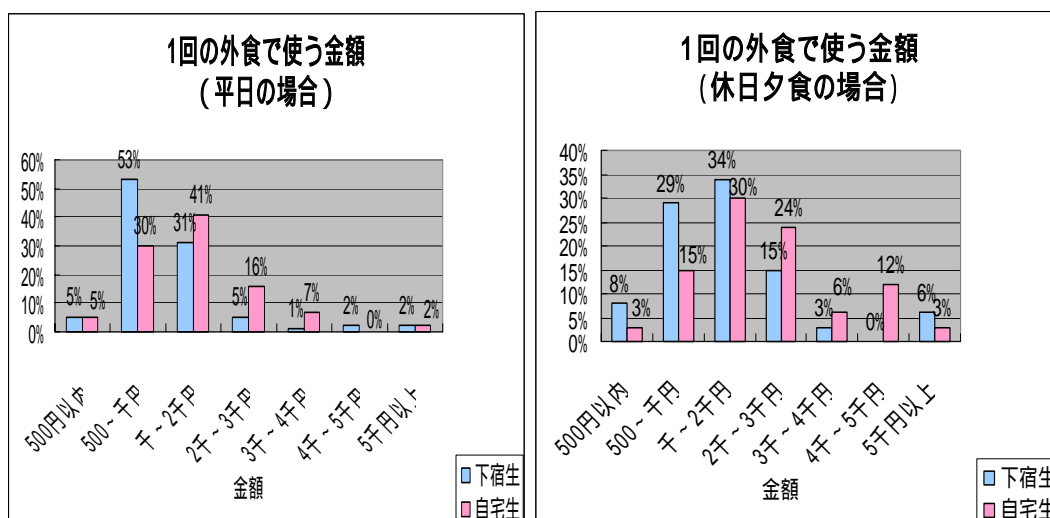


平日においては、下宿生は週に2~3回外食する人が全体の4割にも上っている。そ

れに対して自宅生は、週に1回か月に2～3回外食をしている人が多い。

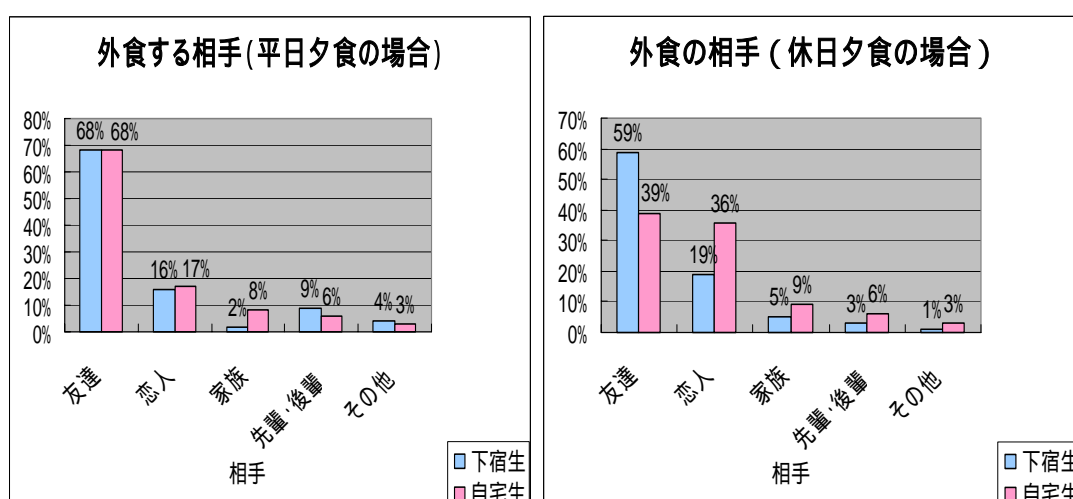
休日においては、毎週末に外食をしている人が自宅生は1割にも満たないのに対し、下宿生は全体の3割にも及ぶ。これは、下宿生が平日・休日に関わらず、外食をしている頻度が、自宅生よりも圧倒的に高いことから、この結果がでたと考えられる。

### - 3 : 外食の際に支払う金額



平日においては、下宿生は5割の人が1回の外食を500円～千円以内で済ます傾向があるのに対し、自宅生は、千円～二千元を支払う人が4割にもものぼる。休日になると下宿生も自宅生も金額は上がるが、いずれにせよ、下宿生よりも自宅生のほうがお金に余裕があり、多く支払っていることがわかった。

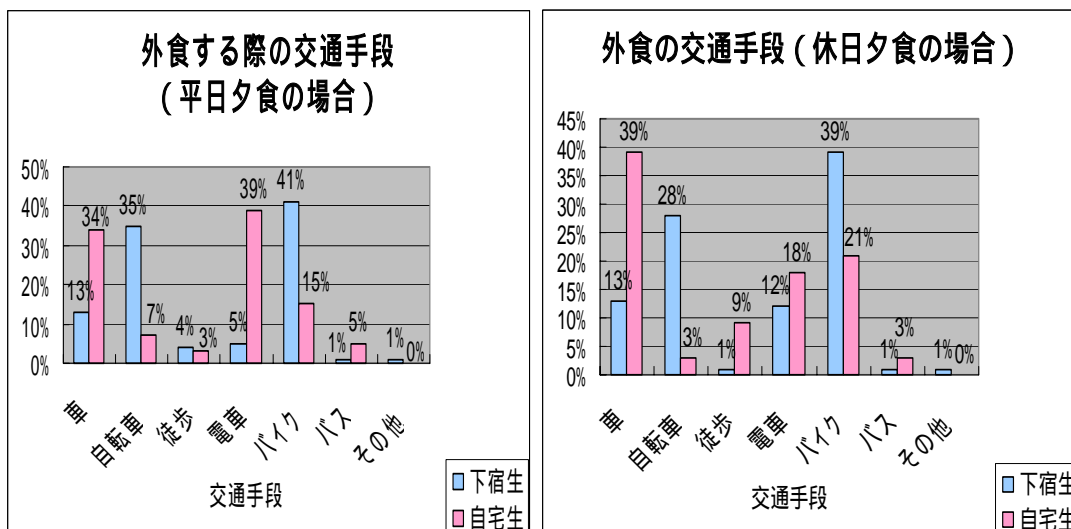
### - 4 : 外食をする相手



平日に外食をする際に一緒に食事をする相手は、下宿生においても自宅生においてもあまり相違はなく、圧倒的に友達と食事をしている。しかし、休日においては特に自宅

生が、恋人との食事を楽しんでいるようだ。平日においても休日においても、家族との外食は減少傾向にあることがうかがえる。

- 5 : 外食をする際の交通手段

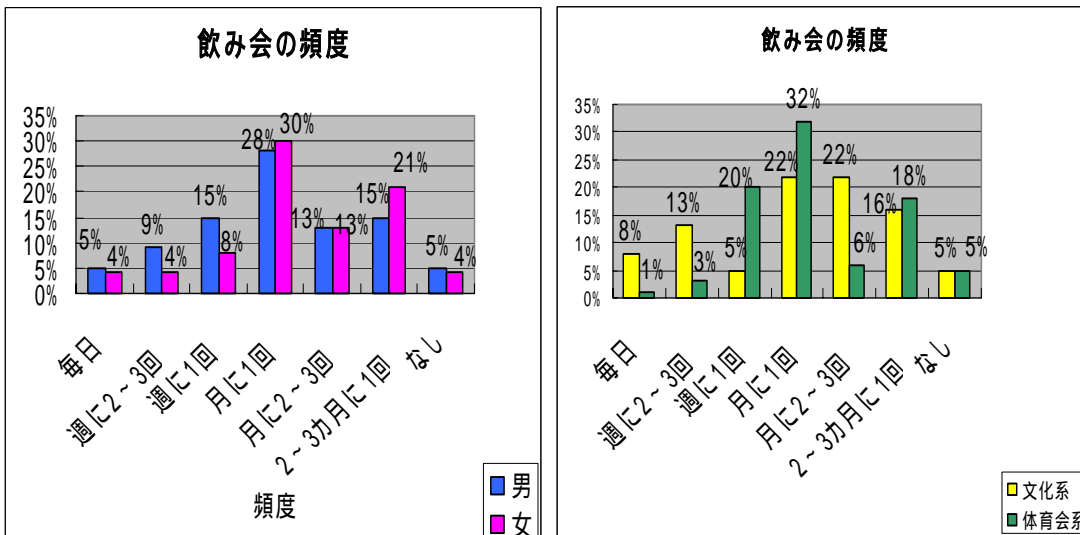


平日においても休日においても下宿生は外食をする際、小回りの利くバイクや自転車を利用している人が全体の3割～4割にも達している。それに対し、自宅生はやはり圧倒的に車を利用している人が多いことがわかった。また、自宅生が平日に電車を利用して外食をしているという数値が顕著なのは、大学からの帰宅途中に外食をしている学生が多い結果ではないだろうか。

## ：飲み会

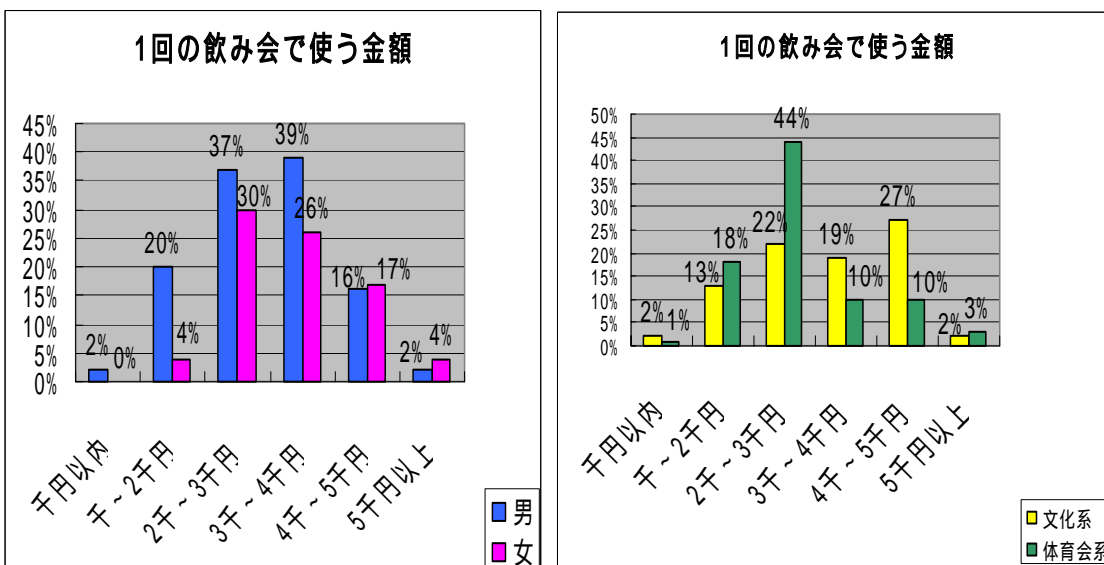
飲み会では次の各項目で男と女、文化系と体育会系とで比較した。

### - 1：頻度



男女ではあまり変化はなく、ともに月に1回が3割を占めている。文化系と体育会系では、文化系は毎日と週に2~3回、もしくは、月に2~3回と2~3カ月に1回と、頻度が多い人と少ない人に大きく分かれた。体育会系は週1回や月1回の中間層で5割を占めている。

### - 2：金額

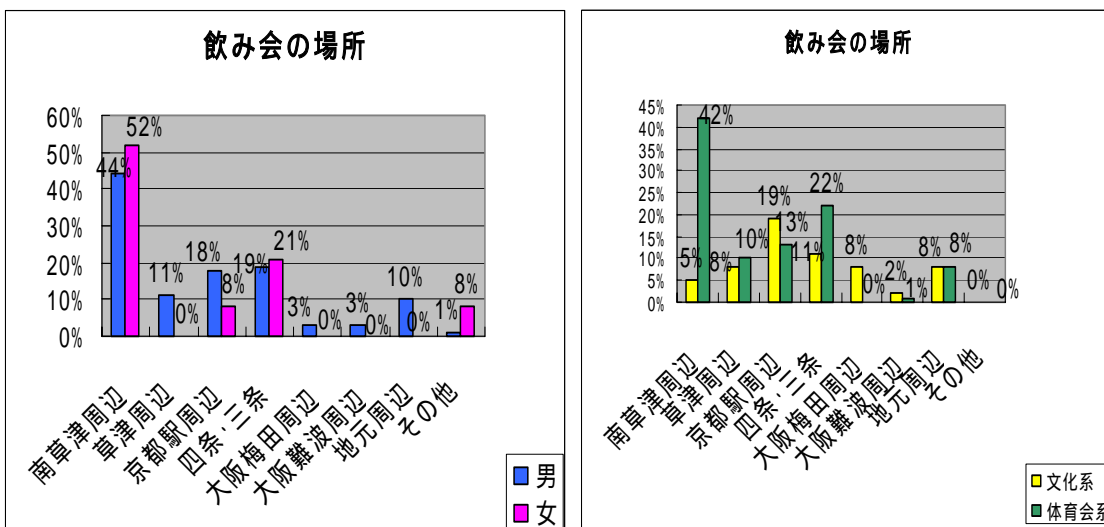


男女では男は千円~4千円で9割を超え、女は2千円~5千円で7割超えた。女のほう



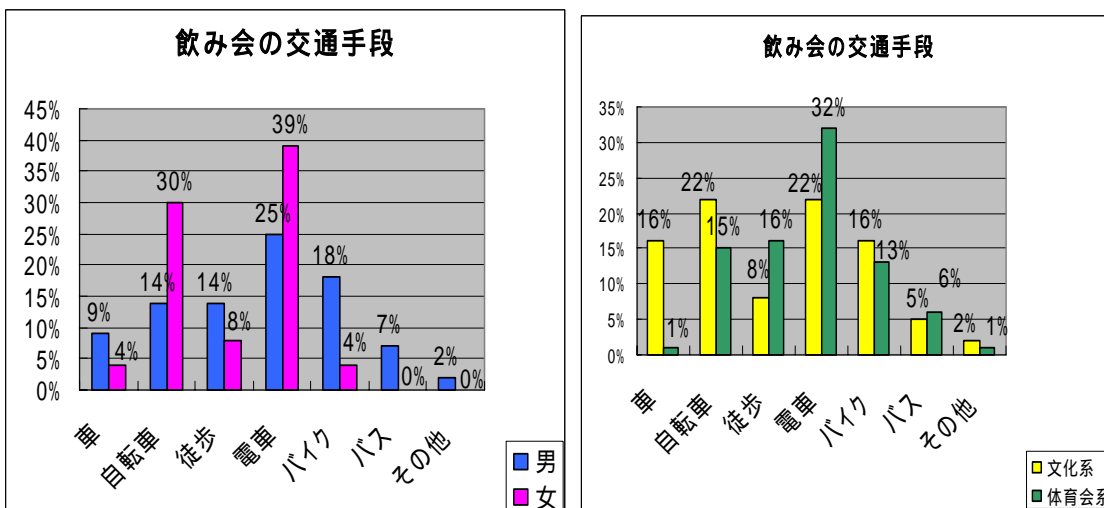
が男より金額を気にしない傾向があるように思われる。また、文化系と体育会系では、体育会系は千円～3千円が5割を超え、文化系は比較的分散していた。5千円までなら出せる人が文化系では多いようだ。

- 3 : 場所



男女でも文化系と体育会系でも、ほとんどが南草津周辺をはじめとする学校の周辺と京都で9割を占めている。

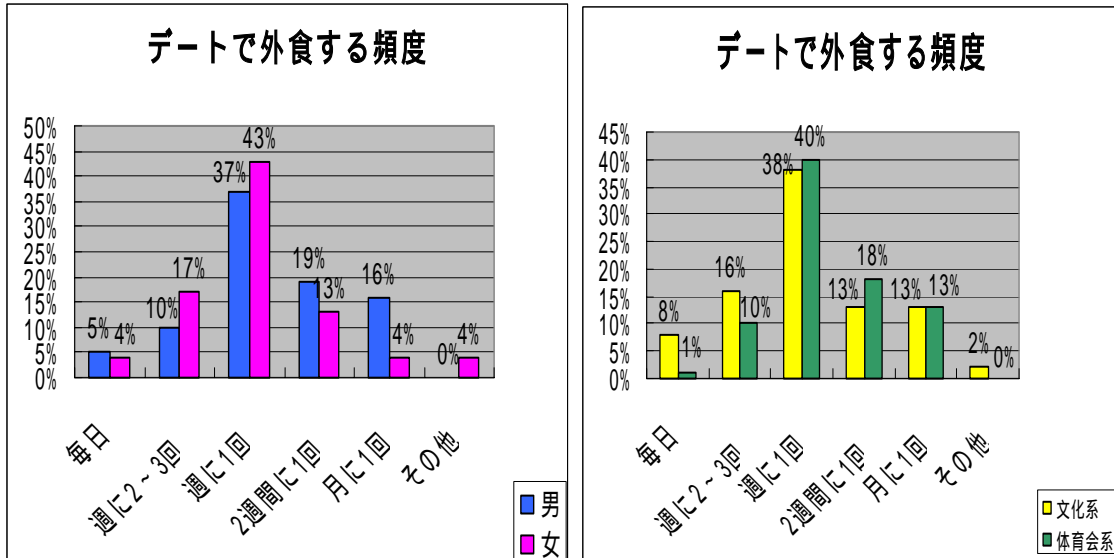
- 4 : 交通手段



男女では、男は交通法違反となる車やバイクを使う人が3割近くと多く、女は逆に交通ルールを守り、自転車や徒歩、電車を利用する人が8割近くになる。文化系と体育会系では、文化系では車、バイクを使う人が3割を超えるが体育会系ではその半以下である。体育会系のほうが規則を守る傾向があるようだ。

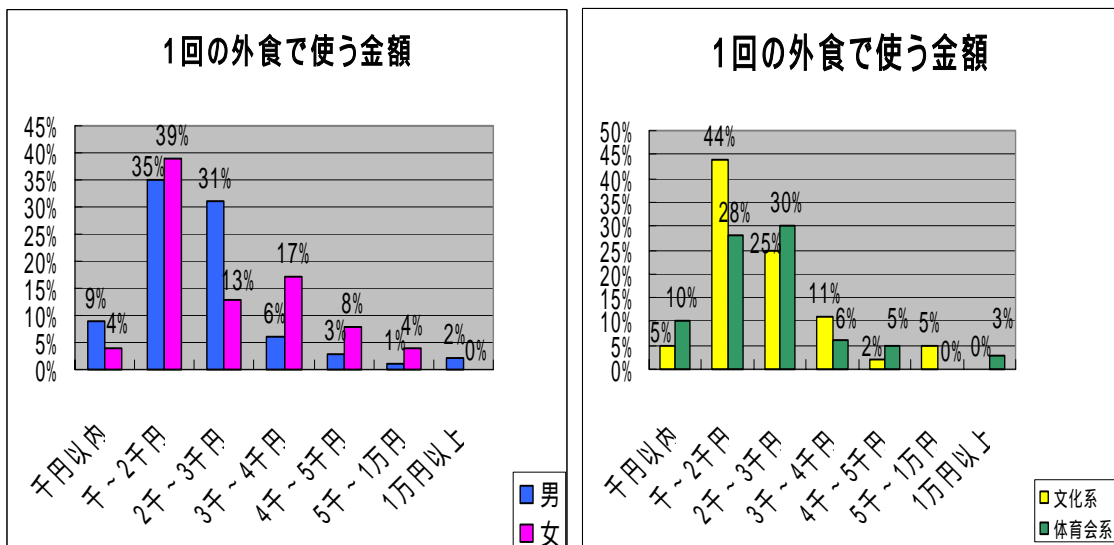
## ：デート

### - 1：頻度



男女では、あまり差がなく、週に1回はデートで外食する人が多い。文化系と体育会系では、どちらも週に1回外食する人が4割ぐらいと最も多く、文化系はそれより頻繁に外食する傾向が強く、逆に体育会系は週1回よりも少ない頻度で外食する人が多い。これは、時間的余裕と金銭面での余裕の違いがこのような結果になったと思われる。

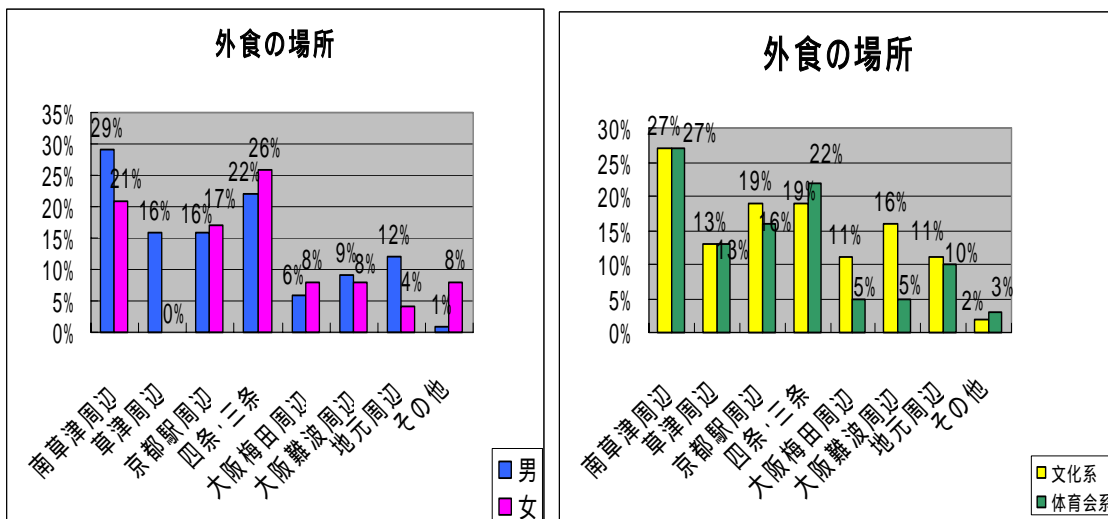
### - 2：金額



男女では、1回の外食で使う金額は男女ともに千円~2千円が4割近くを占めている。そして女のほうが、高い金額を使う傾向があり、デートを特別なものだと考えているた

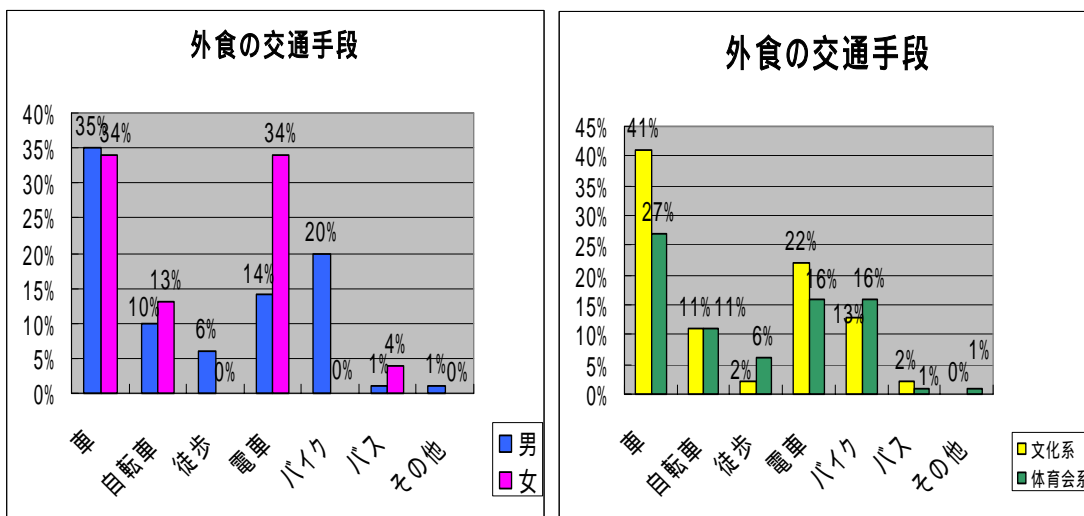
めに、少しのお金なら惜しまないように思う。文化系と体育会系では、文化系では千円～2千円がもっとも多く、体育会系では2千円～3千円がもっとも多かった。これは予想外の結果で、体育会系はデートで外食する頻度が低いために1回で使う金額が増えたとも考えられる。

- 3 : 場所



男女では、男は南草津・草津周辺等の近場で外食をする人が5割近くに対して、女は南草津の学校周辺地域と京都周辺とばらつきがあった。文化系と体育会系では、変化はあまりなく、大阪などの少し遠いところでの外食は文化系のほうが多いようだ。

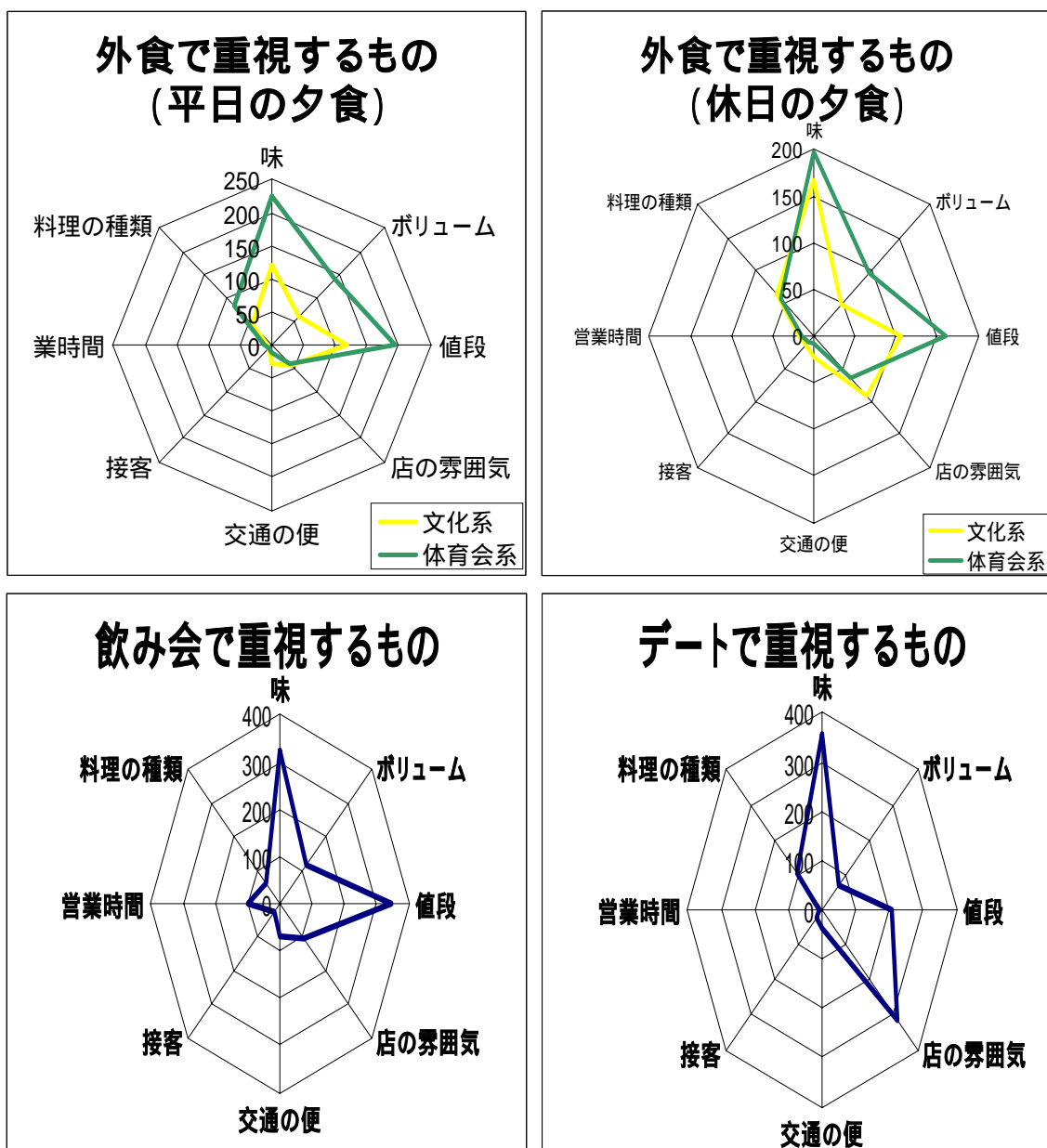
- 4 : 交通手段



男女では、ともに車の割合が高くなっており、デートの際の交通手段は車が定番のよう

だ。女で電車が3割を超えたのは、外食場所で男に比べて南草津等の学校周辺ではなく、京都、大阪の割合が高くなっていたせいだとも考えられる。文化系と体育会系では、文化系は車が4割を占めていた。

：お店選びで重視するもの



自宅生と下宿生ではあまり変化がなかったので、文化系と体育会系で比較した。まず、平日の夕食で外食する際、体育会系は味とボリュームと値段の項目で文化系を大きく上回っている。しかし休日の夕食になると、文化系・体育会系ではあまり変化はないが、体育会系はやはり、味とボリュームと値段の項目が重視されている。また、飲み会、デートで

は男女、住まい、部活すべてに関して、変化がなかったため、全体的に集計した。その結果、飲み会では味と値段が重視され、デートでは味と値段のほかに、店の雰囲気が大変重視される点では、いかにもデートらしい。

おわりに

今回のアンケート調査において、私たちはいくつか反省する点があります。まず、アンケートの質問の量が多かったことがあげられます。このことにより、プレゼンや報告書に使える質問が多々出てきてしまいました。他にも、配布した人が体育会の人が多かったため、集計結果にやや偏りが見られてしまいました。

また、このアンケート調査を実施したことによって、アンケート作成や集計の難しさを知りました。しかし、実際に難しい経験をすることによって初めて学ぶこともたくさんありました。今後アンケート作成をする際には、今回学んだことを活かせたらと思います。